

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

論文リスト(経営工学科) : 41巻

出版者	法政大学工学部
雑誌名	法政大学工学部研究集報
巻	41
ページ	92-94
発行年	2005-03
URL	http://hdl.handle.net/10114/00020667

浦谷 規

口頭発表

- 1) 浦谷 規 門岡 亮 小林雅弘 “公立大学 PFI 事業の分析” 日本オペレーションズリサーチ学会 2004 年発表会アブストラクト集 pp. 152-153 2004. 3. 17
- 2) Tadashi Uratani “Negotiation process in Project financing,” 7th Czech-Japan Seminar in mathematical modelling September 1-2, Awaji, Kobe

国際学会発表

- 1) Tadashi Uratani “Risk Management in Project Financing” , EURO XX, 20th European Conference on Operational Research, July 4-7, 2004, Rhodes, Greece

著書

- 1) 共著 「グローバル・プロジェクトの OR」 日本オペレーションズリサーチ学会 2004, V.2004, pp-38-50.

福田 好朗

査読付論文

- 1) 光行恵司, 小島史夫, 道場広貢, 福田好朗, 荒井栄司, 離散系シミュレーションを活用した多品種多段階かんばん方式の運用手法 日本機械学会論文集 C 編, Vol.70. No.694, 1825-1830, 2004 年 6 月
- 2) 光行恵司, 福田好朗, 荒井栄司, スヨトリス, 久保田文子, 改善活動のための設備稼働実績に基づく生産システムシミュレーション環境に関する研究, 精密工学会誌, Vol.70, No. 8, 1122-1126 2004 年 8 月
- 3) H.Hibino, T.Inukai, Y.Fukuda, A Study on Efficient Digital Engineering Combination between Real Factory and Virtual Factory, Experiences from the Future New Methods and Applications in Simulation for Production and Logistics, ISBN-3-8167-6640-4, P.461-469, 2004 年 10 月

国際会議

- 1) T.Inukai, H.Hibino, Y.Fukuda, The Gateway of Real Factory and Virtual Factory using ORiN and HLA, ICMA 2004, Osak, 2004 年 11 月
- 2) K.Mitsuyuki, T.Ono, Y.Matsumoto, Y.Fukuda, E.Arai, Workplace Tasks Design Support System by Using Computer Mannequin, ICMA 2004, Osak, 2004 年 11 月

解説

- 1) 福田好朗, 生産システムのイノベーション, デンソーテクニカルレビュー, Vol9. No1. 3-7, デンソー, 2004 年 5 月

- 2) 福田好朗, 食品トレーサビリティの導入と今後の課題, 計装, Vol.47, No. 7, 58-61, 工業技術社, 2004 年 7 月

口頭発表

- 1) 福田好朗, トレーサビリティの国際動向について, 食品のトレーサビリティ講演会, (財) 食品産業センター, 2004 年 1 月
- 2) 福田好朗, 食品チェーンのトレーサビリティと国際動向, 食の安全・安心と健康を考えるシンポジウム, 2004 年 3 月
- 3) 加嶋哲雄, 福田好朗, ペトリネットを用いた生産システムにおけるモデリングの研究, 2004 年度精密工学会春季大会学術講演会, 2004 年 3 月
- 4) 飯田剛士, 福田好朗, シミュレーションを用いた仕掛在庫の補充戦略に関する研究, 2004 年度精密工学会春季大会学術講演会, 2004 年 3 月
- 5) 福田好朗, 国内製造業復活と IT 活用, (社) 日本能率協会生産技術研究部会特別講演, 2004 年 4 月
- 6) Y. Fukuda, Up-to-date for the activity of the planning and scheduling language, ISO/TC184/SC 5 Plenary Meeting at Paris, 2004 年 4 月
- 7) Y. Fukuda, Y. Niiyama, Japanese Guideline for Traceability System on Food Chain, ISO/TC34/WG 9 Expert Meeting at Rome, 2004 年 6 月
- 8) 福田好朗, 食品トレーサビリティシステムの構築にあたって, VEC 講演会, 2004 年 7 月
- 9) 日比野浩典, 犬飼利宏, 福田好朗, シミュレーションを利用する生産システム実装の効率化に関する研究, 第一報 現状分析とシステムの概要, 2004 年度精密工学会秋季大会学術講演会, 2004 年 9 月

藤田 昌彦

口頭発表

- 1) Fujita, M.: Oculomotor vermis hypothesis applied to the acceleration and erasure of saccadic adaptation. Neuroscience Research, Vol. 50, Supplement 1, S43, OB 3-11, 2004.
- 2) Fujita, M.: Intermittent associative motor learning theory. Society for Neuroscience 34th Annual Meeting, Abstract 136. 1, 2004.

学会紀要

- 1) 藤田昌彦: フィードフォワード連合運動学習. 第 14 回日本神経回路学会全国大会, 2004.

鈴木 郁

論文

- 1) 鈴木 郁, 越智寛毅: “高齢者にとっての了解度改善を目的とした, 拡声器のための音声加工処理”, 人間工学, 40 (6), 289-301 (2004).

口頭発表

- 1) 市村憲良, 鈴木 郁: “ポインティングデバイスの操作方向及び C/D 比設定の違いによる操作性の変化について”, 日本人間工学会第 45 回大会講演集, 274-275 (2004 年 6 月).

中村 洋一

論文

- 1) 「価格変動と家計貯蓄」『季刊家計経済研究』2004 Winter No.61
- 2) 「日米の技術変化と産業構造の展望」『日本経済研究センター会報』4月号
- 3) 「諸外国における四半期別 GDP の推計方法」日本リサーチ総合研究所
- 4) 「生産要素の産業間配分」『新市場創造への総合戦略』日本経済新聞社, 8月

翻訳

- 1) “Handbook on Non-profit Institutions in the SNA (Chap. 4)” 統計研究会, 10月

講演

- 1) “Macro Economic Models in Japan”, アジア太平洋統計研修所 (2月)
- 2) “The Japanese Economy Viewed from SNA”, 内閣府経済研修所 (3月)
- 3) “Accounts of Government in the Japanese SNA” ASEAN Secretariat, in Vientiane (May) and Bangkok (July)
- 4) 「SNA でみる日本の政府間財政関係」, 全国統計主管課長会議 (6月)

井戸 正敏

査読付論文

- 1) 井戸正敏, 加藤貞夫: “立位作業における上下方向の手の移動動作時間の推定法に関する研究”, 日本経営工学会論文誌, Vol.55, No. 4, pp.171-178 (2004)

木村 光宏

論文

- 1) 田村慶信, 木村光宏, 山田 茂, 「分散ソフトウェア開発環境に対する確率微分方程式モデルに基づく最適リリース問題」, 電子情報通信学会論文誌,

Vol. J87-A, No. 4, pp. 525-533, 2004 年 4 月.

国際会議

- 1) Y. Tamura, S. Yamada, and M. Kimura, “Software reliability modeling for integration testing in distributed development environment,” Proceedings of the 2004 Asian International Workshop on Advanced Reliability Modeling (AIWARM2004), Hiroshima, Japan, August 26-27, pp. 531-538 (2004 年 8 月).
- 2) T. Fujino, S. Yamada, and M. Kimura, “A hidden-Markovian software reliability model considering imperfect debugging and simultaneous removal of multiple faults,” Proceedings of the Seventh China-Japan International Conference on Industrial Management (ICIM2004), Okayama, Japan, November 15-17, pp. 649-655 (2004 年 11 月).

口頭発表

- 1) 田村慶信, 山田 茂, 木村光宏, 「分散ソフトウェア開発環境における一般化確率微分方程式モデルに基づく最適リリース問題」, 統計数理研究所共同研究レポート「最適化: モデリングとアルゴリズム 17」, pp. 57-65 (2004 年 2 月).
- 2) 井上真二, 西垣陽夫, 山田茂, 木村光宏, 「ソフトウェア信頼性評価のための確立微分方程式モデルと最適リリース問題への応用」, 京都大学数理解析研究所講究録「不確実性と意思決定数理の諸問題」研究集会報告集, No. 1373, pp. 80-88 (2004 年 5 月).
- 3) 田村慶信, 山田 茂, 木村光宏, 「分散ソフトウェア開発環境下における最適リリース問題とその応用」, 京都大学数理解析研究所講究録「不確実性と意思決定数理の諸問題」研究集会報告集, No. 1373, pp. 110-118 (2004 年 5 月).
- 4) 田村慶信, 山田 茂, 木村光宏, 「AHP とソフトウェア信頼度成長モデルに基づく Xfce の信頼性評価に関する一考察」, 電子情報通信学会技術研究報告 [信頼性], 北海学園大学, Vol. 104, No. 220, pp. 31-36 (2004 年 7 月).
- 5) 田村慶信, 山田 茂, 木村光宏, 「AHP を用いた Xfce デスクトップ環境の信頼性評価に関する一考察」, 日本オペレーションズ・リサーチ学会 平成 16 年度秋季研究発表会アブストラクト集, 東北大学, pp. 190-191 (2004 年 9 月).
- 6) 田邊朋哉, 木村光宏, 山田 茂, 「バリエーションを選択する機能をもつ 3 バージョンプログラミングシステムの信頼性評価に関する考察」, 日本オペレーションズ・リサーチ学会 平成 16 年度秋季研究発表会アブストラクト集, 東北大学, pp. 194-195 (2004 年 9 月)

- 7) 田村慶信, 山田 茂, 木村光宏, 「オープンソース
共同開発環境におけるソフトウェア信頼性評価法」,
ソフトウェアジャパン 2004 テクニカルセッション
(一般論文), 明治大学 アカデミーコモン, pp. 1
-8 (2004 年 10 月).
- 8) 田村慶信, 山田 茂, 木村光宏, 「デスクトップ環
境に対するソフトウェア信頼性評価に関する一考
察」, 電気・情報関連学会中国支部第 55 回連合大会
講演論文集, 山口大学, p. 429 (2004 年 10 月).

平原 誠

論文

- 1) Nagano,T., Hirahara,M. & Urushihara,W.(2004,
8) A general model for visual motion detection.
Biological Cybernetics, 91, pp.99-103.

国際会議

- 1) Hirahara,M., Fukushima,N. & Nagano,T. (2004.
7) Segregation of Motion Aftereffect Following
Adaptation to Transparent Motion.
Proceedings of International Joint Conference on
Neural Networks 2004 (CD-ROM,1546. pdf).

国内学会

- 1) 平原 誠, 永野俊 (2004. 9) 二次運動の知覚速
度. 日本神経回路学会第 14 回全国大会論文
集, pp.164-165.
- 2) 平原 誠, 石橋隆朗, 大淵 学, 永野 俊 (2004. 3)
二次運動の知覚速度. 電子情報通信学会技術研究報
告, NC2003-153, pp.105-110.
- 3) 平原 誠, 福島直樹, 永野 俊 (2004. 3) 2 方向運動
刺激による運動残効の分離. 電子情報通信学会技術
研究報告, NC2003-152, pp.99-104.